

学校だより



くろくふう

校訓 継続は力なり

鴻巣市立吹上中学校

学校だより「緑風」は、毎月本校HPに掲載しています。

本校HP <https://fukiage-j-konosu.edumap.jp/>

令和6年3月1日(金) 第11号

自分の心と対話する ～心の洗濯時間～

校長 二瓶 亮

一雨ごとに暖くなる日が増え、寒さの中にも春の気配が日に日に増しています。令和5年度も残り一月となり、1, 2年生は間もなく進級、そして3年生はいよいよ卒業を迎えます。来る3月15日(金)には、本校第77回卒業証書授与式が挙行され、109名の卒業生がここ吹上中学校を巣立っていきます。晴れがましい、希望に満ちた、そして、ちょっぴりさびしい旅立ちの時が近づいてきました。



私は学校とは、学力はもちろん、人との対話、他者との協働など、体験活動を通して「多様性を理解し、折り合いを付ける力」「正解のない課題に対して納得解を出す力」など予測不能な社会をたくましく生き抜く力を身に付ける場であって欲しいと願っています。吹中生は今年度も吹上中三大行事や宿泊体験、社会体験チャレンジ、部活動などを通して、心を磨き、仲間との絆を深め、確実に成長しています。

このように学校では他者との関わりの中で学ぶ場面が多くなりますが、一方でそこで得た知識や経験を自分のものにする時間「自分の心と対話する時間」も重要だと考えます。自分と向き合う時間によって「今の自分に必要なことは何か」「自分の力で出来ることは何か」「今、何を優先すべきか」を明確にすると明日やるべきことが見つかるというルーティーンが出来ます。「やらねばならぬ」ではなく、「理想の自分に近づくためにやることを決める」ことが大事だと考えます。自分と対話すると反省点ばかりが見えてくることもあります。その反省も自身の成長につながると感じます。近年、自己肯定感が低い若者が増えたと言われます。失敗を恐れて自分から動かず、受け身の姿勢でいると自分が納得できないことが起こりがちです。すると不平不満もたまります。吹中生には、事がうまくいかなかった時は「自分と対話」して失敗の原因を見つけ「〇〇が足りなかった」と反省し、

自分の良さを生かす道を見つけるために気持ちを切り替えること、自分でやると決めたことに対して一生懸命やることを積み重ねる「向き不向きよりも前向き」の気持ちで納得のいく日々を送って欲しいと思います。

今年度のまとめと次年度への準備を並行して行うこの時期に「自分の心と対話する時間の大切さ」について考えてみましょう。できれば日々のルーティーンにして4月を迎えてみましょう。新たなステージで吹中生が奮闘する姿が想像できます。3年生はそれぞれが選択した道で、1, 2年生は新入生を迎えた新たな吹上中学校で自分らしさを発揮して大いに活躍してください。

今後も吹上中学校では、家庭、地域とも協力して生徒に生きる力を付けさせるために、教職員一丸となって教育活動を進めていきます。

末尾になりますが、保護者の皆様、地域の皆様、今年度も本校教育活動に多くの御支援を賜り、心より感謝申し上げます。明るく、笑顔とあいさつのあふれる学校生活を楽しむ生徒たちの活動は、保護者の皆様、そして地域の皆様の支え無くしては成り立ちません。引き続き、新年度も、本校への温かな御支援を賜りますようお願い申し上げます。